

課題6事例

北海道札幌市 令和2年度日本版MaaS推進・支援事業

札幌型観光 MaaS 推進官民協議会は札幌市内の観光周遊の促進を目指すサービス「札 Navi」の実証事業を 2021年2月1日より開始。
国土交通省の「令和2年度日本版 MaaS 推進・支援事業」に選定されたもので札幌市内における地下鉄、バスなどの公共交通機関と観光施設を連携し、市内の観光周遊促進を目指している。独自開発の Web アプリによって旅ナカにおけるユーザーの潜在ニーズを可視化し、最適な観光地のリストアップ、旅程およびルートを自動で作成し提案している。



ポイント

- 支援事業を活用した実証実験
- アンケートによる課題把握
- 官民連携による取組

背景

札幌を訪れたことのある観光客に対して札幌市が実施したアンケートから、観光客は市内の移動に関して最も不満を持っていることがわかった。特に、公共交通機関でアクセスできる場所が限られている、観光スポット同士の距離が離れている、乗継が不便でわかりにくい、といった課題が挙げられた。
ユーザーが求めている観光施設情報と、公共交通機関を使った最適な移動方法・旅程を提案することで、市内観光における円滑な移動の実現を目指している。

取組内容

「札Navi」は、ユーザーの趣味趣向データから潜在ニーズを可視化し、札幌市内における観光情報とバスや地下鉄などの公共交通機関における情報を連携させ、最適な観光地・旅程をユーザーに提供することで、市内観光周遊の促進を目指している。

ユーザーから収集した旅の目的や予算、人数、可処分時間などの属性データを基に、ユーザーが今求めている観光地をレコメンドし、公共交通機関を使って複数の観光地を周遊する旅程を自動で作成・提案。札幌市における、およそ 100におよぶ観光施設をレコメンド対象とし、あらゆるユーザーにマッチした幅広い観光スタイルを提案する。

また、外部サービスと連携し一部観光施設の入場チケットを購入したり、タクシー配車機能により、その場でタクシーを呼ぶことも可能。本サービスはアプリではないため、使用のスマートフォンからサービスサイトにアクセスし、誰でも無料で利用することができる。

